

地球惑星科学委員会IUGS分科会（第24期・第2回）議事録

日時：平成 30年 5月 16日（水）14：00～15：45

場所：日本学術会議6階 6-C(1)会議室

出席者：木村 学，大久保泰邦，北里 洋，佃 栄吉，中田節也，西 弘嗣，
谷口真人、渡辺真人、宮崎一博

欠席者：益田晴恵、斉藤文紀、奥村晃史

事務局：中西陽紀事務官

1. 前回議事録の確認（資料1）

前回の議事録を確認した。

2. 各小委員会からの報告事項および活動方針

下記の各委員会から活動の報告があった。

IAH：9月9日～9月14日に国際会議の予定。

CGI：6月12日にバンクーバーで会議予定。

ICS：5月22日に小委員会の会議の予定。

ILP：6～7月に小委員会開催の予定。沈み込み帯のTask Forceを立ち上げる計画がある。

地質年代小委員会：5/23小委員会の会合を開催予定、5月22日にJpGUでセッションを開催。

3. 72nd IUGS Executive Committee Meeting 報告

北里委員からthe 72nd EC meeting議事録とTreasurer's Annual Reportに基づいてIUGSの活動報告があった。また、本年度予算に関する報告もなされた。

4. Bureau 会議日本開催について

本年度の11月11～14日の間にIUGSのBureau MeetingとIUGS-SCJ-IRIDeS共催のシンポジウムを仙台（東北大学）で行う計画が報告された。Bureau Meeting 開催に際して、東京地学協会が後援する。また、シンポジウムに合わせて分科会を開催することを検討する。

5. GeohazardTaskGroup活動報告（資料3）

本年度の予算は7,000ドルと決定された。また、2018年度の活動予定が報告された。昨年度から継続しているIUGS-E-Bulletinの原稿の準備状況が報告されたが、出版雑誌は決まっていない。さらに、2019年度のSATREPSに、ベトナムにおける地滑りとシンクホール警戒システムの構築に関して応募

する予定であることが報告された。

6. ICS -SQS 活動報告とくに Chibanian について

Chibanianの提案に国内組織から異議が提出されたことに関して、現在の状況を把握するため申請グループの説明を受けた。提案に関しては学術出版論文等も追加され、科学的にも問題がないことを確認することができたので、分科会からその旨を表明する文書を Subcommission on Quaternary Stratigraphy (SQS) に送ることになった。

7. ジオパーク委員会および活動に関して

国内ジオパーク委員会の組織に関して渡辺委員から説明があった。現在、ジオパーク委員会は、文部科学省ユネスコ国内委員会から認証を受けた外部委員会となっている。このジオパーク委員会の下部組織として、新たに調査部会が設置された。実際の審査は、この調査部会で行っている。本分科会委員数名もこれらの委員会のメンバーとなっていることが報告された。

8. その他

特になし。